

災害ごみの一次仮置き場について

●一次仮置き場の必要面積（福津市災害廃棄物処理計画より）

可燃物 11,000 m²

不燃物 12,364 m²

合計 23,364 m²

●一次仮置き場候補地(福津市災害廃棄物処理計画・福津市地域防災計画より)

名称	住所	面積 (m ²)
津屋崎浄化センター横敷地	津屋崎2461他3筆	6,885
あんずの里運動公園 (多目的広場) (野球場)	勝浦	7,216 12,360
福間浄化センター敷地内	上西郷	9,287
なまずの郷運動公園 (多目的グラウンド) (野球場) (芝生広場)	上西郷	18,488 12,979 8,192
ほたるの里 (駐車場) (太陽の丘)	本木	1,977 2,614
みずがめの郷 (野球場)	久末	9,936
福間東中第2グラウンド	久末	11,577
合計		101,511

：災害時に他の利用予定がなく、災害廃棄物の一次仮置き場として利用可能な用地(計:25,455 m²)

●一次仮置き場候補地の位置地図（別紙参照）

●市が考えるデメリット・メリット

・デメリット

運搬ルートを遮断する可能性

悪臭

未分別

職員を仮置き場に派遣できない

市内各所で渋滞が起きる。

・メリット

近くでゴミが出せる。

ゴミを分散できるので、大きな会場がいない。